

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	おり〜ぶ太白				公表日	令和7年3月19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		・活動スペースは十分だが、個室は少ない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	・基準人員は配置している	・人員不足が否めない ・利用者数（基準人員は満たしている）に対して、職員数が少ないときがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・段差が少なくバリアフリーになっている	・トイレが男女1つずつしかないため、子どもを待たせてしまう場合がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	・子どもたちが降所後、毎日清掃を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・集団が苦手な子どもに対して個室を用意している	・個室が少ない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	4		・ミーティングを行っているが、利用者対応について統一されていないときがある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	・経験の若い職員と定期的に話し合う機会を設け、内容を業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10		・第三者による外部評価を行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・外部の研修に参加することで、職員のスキルアップにつなげている ・法人内で経験年数に応じた研修が行われている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	・家族や子どもから出た課題を計画書に記載しており、一人ひとりに合わせた計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・支援に関わる職員が計画書作成会議に参加している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・計画書の内容に基づいて子どもと関わるように心がけている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	・共通のツールを活用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・各月毎に担当を決めて立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・毎週、異なった内容の活動を提供している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・子どもの状況に応じて、計画書を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・支援開始前にミーティングを行い、情報共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3		・必ず打ち合わせを行っているわけではないが、当日の出来事を職員間で伝え合っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	・5領域に沿った内容で日々の記録を残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2	・定期的なモニタリングと計画書の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	2	・複数の活動を組み合わせ、個別や集団に配慮して支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	2	・意思決定支援を大事にして関わっている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	・利用児の担当が会議に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	・必要に応じて各学校と連絡調整を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3		・関係機関と情報共有を行ってはいないが、ご家庭から情報をいただいている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	・移行支援会議に参加している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0	・専門機関に研修を依頼しており、職員のスキルアップを図っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		・以前は近隣の児童館と交流する機会を設けていたが、今年度の取り組みはなかった
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	10		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時や電話、各ツールを使用することで情報共有を行い、相互理解に努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・年度毎に契約の取り交わしを行っている為、その際に説明を行っている ・変更があった際は、その都度説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2	・ご家族の意向を反映して作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	・面談の際に計画書を提示して、説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	3	・丁寧な聞き取りを行っている	・悩みに対してアドバイスを行っているが、的確なアドバイスが分からない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	・年2回、茶話会を開催しており、保護者同士で交流する場を提供している	

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・苦情解決窓口を設置している ・苦情があった際は迅速な対応を心がけている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月お知らせとして活動や行事について周知している ・年2回、事業所通信を発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・個人情報の取り扱いに十分注意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・送迎時の口頭説明に加え、連絡帳や電話、ライン等を活用して情報伝達に努めている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3	・町内会の集会場として場所を提供している	・事業所として地域住民を招待する行事を開催していない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	・活動の一環として、子どもと一緒に避難訓練を行っている	・全てのマニュアルを家族に周知しているわけではない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・毎年、消防署の方を招いて救命救急講習を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	2	・利用契約の際、既往歴について必ず確認を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	6	・行事で提供する際、事前に各ご家庭へ確認している	・施設として食事を提供する機会が殆ど無い
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	4		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・ヒヤリハットや事故があった際、必ず職員間で共有を行い、防止策を話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・法人内の研修に参加している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	・面談時に保護者へ説明を行い、了承を得た上で個別支援計画書に記載している		